orchids occur frequently in this community. These plants are mostly not found on limestone outcrops.

3. It is an interesting fact that there are such noticeable disjunctive elements as *Frullania sackawana* and *F. nodulosa* on quartzite outcrops.

○ コバノタゴボウ日本内地に産す (初島住彦) Sumihiko HATUSIMA: On the occurrence of *Ludwigia parviflora* Roxb. in Japan proper

我国のフロラにコバノタゴボウ *Ludwigia parviflora* Roxb. を最初にあげたのは1906年の松村・早田の台湾植物誌であるがその後台湾以北から報告はない様である。然るに最近筆者は内地でチヨウジタデと称している型に2型あってその一つが上記のコバノタゴボウであることを知った。今両者の区別をあげて見ると次の如くなる。

蒴は線状長楕円形～長楕円状桿棒形にして鈍四角形，長さ 6—13 mm, 径 2—2.5 mm, 種子は縦に数列に並び外部より見へず..... *L. parviflora*

蒴は細き柱状をなし稍尖れる四角形にして膨れず，長さ 2～3 cm, 径 1～2 mm, 種子は縦に2列に並び外部より見へる..... *L. prostrata*

即ち実を見れば直に区別出来る。コバノタゴボウの方はチヨウジタデに比べて実は中央部附近が膨れるか又は上方に向って太くなり，外果皮がコルク質で厚いので種子は外方からは見へない。之に反しチヨウジタデの方は果実は細長い柱形で角張っており外果皮が薄いので2列にならんだ種子が外方から見へる。鹿児島地方で注意して見るとコバノタゴボウの方が普通でチヨウジタデの方が稀である。古瀬義氏はコバノタゴボウを伊豆半島で採っているので関東以西の暖地に広く分布しているものと考へる。此処で問題になるのは長崎で F. C. Greatrex 氏が採り原博士により新種とされた *L. Greatrexii* Hara (ウスゲチヨウジタデ) であるが筆者は未だ type を見ていないので確定的のことは云へないが鹿児島地方産でウスゲチヨウジタデの記載に完全に一致する標本から考へるとチヨウジタデの少し毛のある型の様に思はれる。

原記載では本種に近似するチヨウジタデは花小さく，花盤は無毛，種子は大きくコルク質の内果皮内に包まれるとしてあるが之はコバノタゴボウをさしている様に思はれる。コバノタゴボウは花はチヨウジタデより一般に小形で花盤も無毛である。元来チヨウジタデは蒴葉，子房に多少毛があり有毛型と無毛型の区別は中間型が多く困難である。当教室には琉球産として奄美大島 (河越重紀)，与論島 (上原協)，沖縄島 (初島 17797)，西表島 (初島 24044)，与那国島(初島 24419, 24247)があるがいずれもウスゲチヨウジ型である。其外大隅佐多岬(初島 20563)もウスゲ型である。原博士も述べている様に日本のチヨウジタデ類には *Nematopyxis japonica* Miq., *Jussiaea parmentieri* Lév., *J. japonica* Lév. *J. Fauriei* Lév., *J. Philippiana* Lév. 等の学名が与へられているが恐らく上記のコバノタゴボウかチヨウジタデのいずれかの異名となるものと考へる。

Ludwigia parviflora Roxb. Hort. Beng. (1814) 11, nomen nudum, Fl. Ind. **1** (1820) 440; C. B. Clarke in Hook. f., Fl. Brit. Ind. **2** (1879) 588; Matsumura et Hayata, Enum. Pl. Formos. (1906) 155; Merr. Enum. Philip. Pl. **3** (1923) 220

Hab. Honsyu: Prov. Izu: Makurazaki, M. Furuse (Exsiccata of Nat. Sci. Mus. Tokyo No. 1130); Matuzakicho, Kamogun, M. Furuse. Kyusyu: Shinkawa Keikoku, Prov. Ohsumi, Hatusima 21234; Isl. Koshiki, Prov. Satuma, S. Sako 1555; Yeuchimura, Izumigun, Prov. Satuma, Sako 1650. Ryukyus: Isl. Miyako, S. Hatusima 23233.

Distrib. Persia through tropical Asia and Malaysia to Australia.

(鹿児島大学農学部)